

## 第 27 回 大和川流域総合治水対策協議会 議事録

開催日時：平成 28 年 2 月 10 日（水）14:00～15:30

開催場所：桜井市立図書館

出席者：近畿地方整備局長、奈良県知事、出席 22 自治体（奈良市、大和高田市、大和郡山市、天理市、橿原市、桜井市、御所市、生駒市、香芝市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、高取町、明日香村、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、大淀町）

### 『大和川流域の力を結集した洪水対策』

総合治水対策の推進について事務局からの資料説明後、大和川流域を「生駒いかるが・平城圏域」、「曾我葛城圏域」、「布留飛鳥圏域」の 3 グループに分け、奈良県が提案した総合治水に関する取組の強化（治水を強化する条例制定の必要性）についてグループ討議を行った。

グループ討議後の意見発表の内容は以下のとおり。

### 生駒いかるが・平城圏域グループ

- 防災調整池が必要な開発の許可面積を 3,000m<sup>2</sup> 以上から 1,000m<sup>2</sup> 以上にするという  
ことで、意見が大きく二つに分かれました。
  - ・開発の許可面積を小さくしていくべきという意見。
  - ・開発の許可面積を小さくすると「まちづくり」に影響するのではないか。
- 開発において、ミニ開発が逆に増えていくのではないかという意見。
- 二つ目に論議されたのは、市街化編入の規制ということで、規制すると「まちづくり」  
が出来ないという反面、やはり市街化編入を規制して、なるべく市街化調整区域にし  
ておくべきであるという二つの意見が出ました。
- 三つ目は、水害に対する住民の理解をもっと得るように、みんなで頑張っていかなければ  
ならないのではないかという意見でした。
- ここのグループでは、やはり内水対策が非常に大事だということも話し合われました。
- ここにいる皆さんに直轄遊水地、内水対策を進めて頂くことをお願いしたい。

### 曾我葛城圏域グループ

- S57 台風を知っている人間が何人いるのか。あの状況を思い浮かべる人数がかなり減  
ってきているのではないか。
- 市町村によって内水で被害を被っている地域とそうでない地域で温度差があるので、

例えば市町村での流域対策の努力目標を、各地域で降った雨が下流に到達する時差として示すなど、いかに奈良県全体の安全につながるかという分かりやすい方向性を示したような資料づくりはできないか。

- 大和高田市では、平成 14 年から、防災調整池が必要な開発を 1,000m<sup>2</sup> 以上としている。舗装も浸透性の舗装を業者をお願いをして、概ね了承を得ている。
- 住民の理解を得るため、上流の市町村もこれだけのことをしなければならないということ、見える形で、条例の中でやって頂きたい。

#### 布留飛鳥圏域グループ

- 昭和 57 年の洪水に対する議論がずっと続いてきている中で、やはり雨の降り方が変わってきている。ゲリラ豪雨で地域も集中している中での考えも必要ではないか。
- 1,000m<sup>2</sup> 以上の開発については、県として条例化を目指されるという中で、相当意見が出ました。
  - ・市町村毎で状況が違っている部分をしっかりと整理をしていかなければいけない。
  - ・見方によっては、ミニ開発、小規模開発を促進するという事になっては、かえっていけないだろうという意見。
  - ・小さな調整池が多数できることで、景観上や管理上の課題が出てくる。
- 「ひかえる」というところでは、市町村によっては、これを全面的に導入した時に、ほとんど開発をする余地がなくなってしまうという懸念がある中で、県と市町村の間で、場所の設定については一方的というよりも、しっかり議論する必要がある。また区域の名称についても地元の受け止め方に配慮した名称に留意する必要がある。
- ため池については、従来に比べれば、利水に必要な部分が減ってきているが、万が一に備えて利水を確保しているなかで、どのように説得をして、説明をしていくかというところが非常に大事。雨水を受けて下さいと言うと地元との間に補償的な話が出てくるというような事態があるので、今までのハード対策を有効利用するという観点と地元との関係をよく見極めて動く必要がある。
- 貯留対策について、技術的・財政的支援を考えて頂ければ大変ありがたい。

総括《奈良県 荒井知事》

- ・ミニ開発であっても大開発であっても、屋根ができた水が早く流れてしまい、地面に浸透するのを抑止してしまうので、治水対策を大なり小なりしてもらわなければならないのが出発点。
- ・浸水の恐れのあるところの「見える化」は最低限必要かと思う。
- ・上下流の温度差について、制度的に上流も納得するような知恵が出せたらと思う。支川流域で対策をまとめられたところは、県の財政支援を考えていきたいと思っている。
- ・知恵が要ところは随所に発言して頂いたので、さらに詰めて条例の制定に向けた検討を進めさせて頂きたい。

総括《近畿地方整備局 山田局長》

- ・技術的あるいは財政的も含めまして国も支援させて頂きたいと思っています。
- ・国交省も、先ほど話をしました直轄遊水地を始め、整備計画に載っている事業は、できる限り頑張っていきます。ご協力お願いいたします。

以上